

新時代の ナレッジマネジメントの 実践手法の提案

見えないデータを活用する 分科会

『見えないデータを活用する』メンバー



(株) デンソーテン
服部 克征：ぴよ
(リーダー)



SGシステム (株)
田中 麻璃子：たなまり
(サブリーダー)



(株) 麻生情報システム
有光 毅：ありみっちゃん



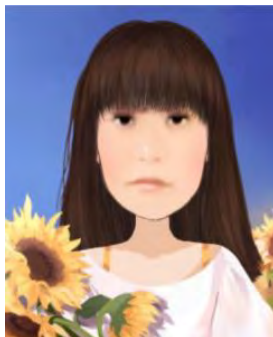
コベルコシステム (株)
井上 圭：ケイ



象印マホービン (株)
岸良 悠生：ゆーせい



ドコモ・システムズ (株)
澤田 穰：澤ちゃん



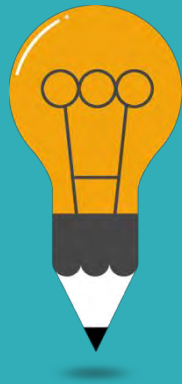
パシフィックシステム (株)
高木 理加：きーやん



(株) アシスト
松尾 徹也：まっつん



(株) アシスト
猪 宏史：いのっち



見えないデータの活用 分科会とは

企業活動での見えないデータとは



営業活動における受注見込みは？



効率的な生産方式とは？



最適な人材配置は？

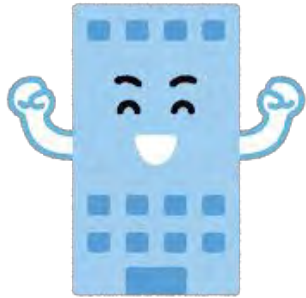


効率的な宅配を実施するには？

ナレッジマネジメントとは

知識を共有して活用することで、
また新たな知識を創造しながら経営を実践すること

蓄積されたノウハウ



(見えないデータ)

マニュアルを共有



(見える化)

生産性向上



ナレッジマネジメントとは

知識を共有して活用することで、
また新たな知識を創造しながら経営を実践すること

蓄積されたノウハウ

暗黙知

(見えないデータ)

マニュアルを共有

形式知

(見える化)

生産性向上



見えないデータ（暗黙知）を活用した事例



引用：Mizuno 『BLAST BASEBALL』
<https://www.mizuno.jp/baseball/products/BLAST/>

見えないデータ（暗黙知）を活用した事例



引用：Mizuno 『BLAST BASEBALL』
<https://www.mizuno.jp/baseball/products/BLAST/>

見えないデータ（暗黙知）を活用した事例



引用：Mizuno 『BLAST BASEBALL』
<https://www.mizuno.jp/baseball/products/BLAST/>

見えないデータ（暗黙知）を活用した事例

The screenshot shows the Mizuno website's product page for BLAST baseball bats. The navigation bar includes the Mizuno logo, category links (Men's, Women's, Junior/Kids, Sports, Lifestyle, More MIZUNO), and utility links (ユーザーサポート, 直営店情報, 取扱店情報). A search bar and login/shopping cart icons are also present.

	無料サービス	選手モード	コーチモード
価格	¥0	¥8,250 /税込・年間 ※30日間フリートライアルあり	¥13,750 /税込・年間
計測項目	バットスピード 手の最大スピード アッパースイング度 スイング時間 パワー ヘッド角度	無料サービスの計測項目 + オンブレーン バットの回転の強さ バットと体の角度 (Early connection) バットと体の角度 (Connection at impact) スイングの点数化 (Plane, Connection, Rotation) 打球スピード 打球角度 打球の飛距離	選手モードの計測項目

引用：Mizuno 『BLAST BASEBALL』
<https://www.mizuno.jp/baseball/products/BLAST/>

見えないデータ（暗黙知）を活用した事例



暗黙知を形式知化
＝デジタルイゼーション



データを活用したコーチングの平準化
＝デジタルイゼーション



新規事業の創出
＝デジタルトランスフォーメーション（DX）

引用：Mizuno 『BLAST BASEBALL』
<https://www.mizuno.jp/baseball/products/BLAST/>

DXの取り組み状況

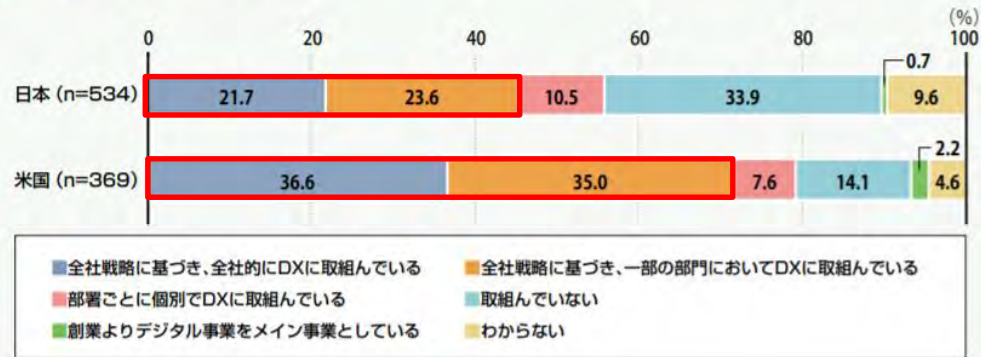


45%

71%



図表11-1 DXへの取組状況



引用：『DX白書2021』DXへの取組状況
※IPA 情報処理推進機構より

DXの取り組みが進まない背景

データ利活用の方針や
文化がない



経営層のデータ利活用
への理解がない



データを収集する
仕組みがない



リーダーがデータ利活用
に対する方針を示せていない



データ管理システムが
整備されていない



IT部門が最新のデータ
関連技術に対応できない



人材の確保が難しい



関係者を巻き込んだ活動
の推進ができていない



本分科会の想い

本分科会のテーマである「**見えないデータ（＝暗黙知）を活用する**」の最終的なゴールを、**ナレッジマネジメントの実践によるDXの実現、イノベーションの創出**とした上で、まずはそれを実現するための**土台作りが必要**であるという結論に達した。



土台に必要な要素とは????

- 『暗黙知』の活用を実践する文化
- 方針／仕組み／人といった課題の解決
- ナレッジマネジメントの実践

こんなことにお悩みの皆様へ

“ DX推進のため、組織風土に変化をもたらせたい ”

“ メンバー全員で知恵を出し、プロジェクトを進めたい ”

“ リモートワークの機会が増え、指導が難しい ”



そんなあなたに、最適なナレッジマネジメント
の実践手法をご紹介します！

新時代のナレッジマネジメントに 必要なポイント

プレゼンの最後にQRコードを表示しますので、
そちらから取得くださいませ！！

新時代のナレッジマネジメントに 必要なポイント

01

メンバー全員と共通した達成すべき
目標の設定を行うこと

02

場を創出すること

03

ICTツールを巧みに活用すること

04

ごくごく普通のことを言っているだけでは??

そんなの知ってるよ!

今までやってきてますけど?

でも皆さん、上手く行ってますか??



新時代のナレッジマネジメントに 必要なポイント

01

メンバー全員と共通した達成すべき
目標の設定を行うこと

02

場を創出すること

03

ICTツールを巧みに活用すること

04

**SECIモデルを業務プロセスに組み込み
実践すること**

新時代のナレッジマネジメントに 必要なポイント

01

メンバー全員と共通した達成すべき
目標の設定を行うこと

02

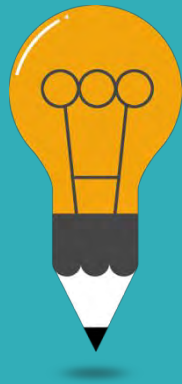
場を創出すること

03

ICTツールを巧みに活用すること

04

SECIモデルを業務プロセスに組み込み
実践すること



SECIモデルの理論

SECIモデルとは？

組織的に知識を生み出すためのプロセスを表したものの

共同化（Socialization）

① 同じ体験を通して**暗黙知**を共有する



表出化（Externalization）

② 共有された**暗黙知**を**形式知化**する



内面化（Internalization）

④ **新しい形式知**を獲得して**新しい暗黙知**が生み出される



連結化（Combination）

③ **形式知同士**を組み合わせると**新しい知識体系**を作る



SECIモデルとは？


福岡の旅行おすすめスポット発信

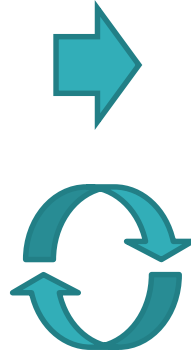
共同化（Socialization）

①福岡の旅行スポットについて皆で話しあった



内面化（Internalization）

④SNSに反響があり、ほかにも発信するツールがないかという気づき生まれる 



表出化（Externalization）

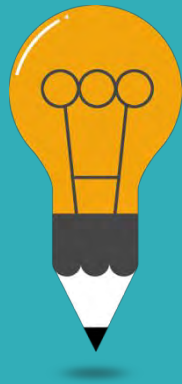
②皆のおすすめスポットをメモにまとめてみた



連結化（Combination）

③まとめたおすすめスポットをSNSで発信する





暗黙知を活用した成功事例
をSECIモデルに当てはめてみた

暗黙知を活用した成功事例

世界一のトースター開発（BALMUDA社）



引用：BALMUDA HP
<https://www.balmuda.com/jp/>

開発に至る経緯

①17歳のスペイン放浪時、
ロンダの町で食べたパンに感動。



②土砂降りの中決行したBBQで
食べたパンに感動、スペインの
体験を思い出す。



③このパンを完璧に再現できれば世界一のトーストが焼ける！

世界一のトーストが焼けるトースター開発を決意！！

成功事例をSECIモデルに当てはめてみた

共同化（Socialization）

- ① **メンバーの体験**を包み隠さず（臆することなく）共有し、トーストの味に関連しそうな要素を洗い出した。



内面化（Internalization）

- ④ **検証結果**と**課題**を確認した。（現在地を明確にした）



表出化（Externalization）

- ② 開発メンバーの経験・体験を具体的な**施策**に落とし込んだ。
例）雨が降っていた → 水分を加えるとよい



連結化（Combination）

- ③ 世界一のトーストを焼くため「**条件（=構成要素）**」と「**最適な組み合わせ方（=結合バランス）**」を追求した。



成功事例をSECIモデルに当てはめてみた

共同化（Socialization）

- ① **メンバーの体験**を包み隠さず（臆することなく）共有し、トーストの味に関連する要素を洗い出した。



内面化（Internalization）

- ④ **検証結果**と**課題**を確認し、（現在地を明確にした）



表出化（Externalization）

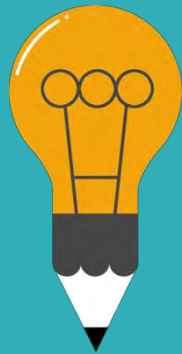
- ② 開発メンバーの経験・体験を具体的な**施策**に落とし込んだ。湿度が降っていた → 水分を減らしたい



結合（Combination）

- ③ 世界のトーストを焼くための「**条件（=構成要素）**」と「**最適な組み合わせ方（=結合バランス）**」を追求した。

【共通の目標】
世界一の
トースター開発



分科会のSECIモデル 実践事例

オンライン分科会の悩み

従来の分科会



身振りができる
手振りができる
頷きがわかる
表情がわかる
会話の間がとれる

オンラインの分科会



身振りができない
手振りができない
頷きが少ない
表情がわかりづらい
会話の間がとれない

オンライン環境下で直面した課題をSECIモデルで
どこまで改善できるかを挑戦した！！

SECIモデル実践事例（雰囲気作り編）

共同化（Socialization）

① **雰囲気づくりのための案**について、意見を出し合った。



内面化（Internalization）

④ **実践した分科会**で、あらたな**気づき**が生まれた。
資料を共有すると全員の顔が見えない。



表出化（Externalization）

② 案や過去分科会の事例を参考に**分科会のルール**を議事録にまとめた。



連結化（Combination）

③ **テレビ会議**でも実践できる**分科会のルール**を決めた。
ニックネームで呼び合う
うなずきを多くする



SECIモデル実践事例（議論の活性化編）

共同化（Socialization）

①議論の内容把握ができるための**改善案**について話し合った。



内面化（Internalization）

④**実践した分科会**で、あらたな**気づき**が生まれた。
意見が活発になると、議事録が書けない。



表出化（Externalization）

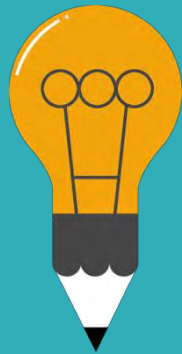
②改善案やワークショップを参考に**活用できるツール**を議事録にまとめた。



連結化（Combination）

③**テレビ会議**でも最大限効果を発揮できる**ツール**を決めた。
Miro（オンラインホワイトボード）を使って、**バリューグラフ**を活用した。





分科会活動を通して
お伝えしたいこと

01

メンバー全員と共通した達成すべき**目標**の設定を行うこと

本分科会の共通の目標として、

「メンバー全員の分科会満足度の総和がMaxとなる」
を目指しました。



共通善



場を創出すること



① 本音で話すための空気作り

自己有用感、安心感や信頼感
(本音で議論、会議中の相槌、ニックネームで呼び合う等)

② 時間と空間の共有

感性、感覚、感情の共有

皆さんこんな経験
ないですか???

場を創出すること

何て言えば良いのか。
とりあえず、思った
こと伝えよう。



それって、
こういうことじゃ
ないの？



そうそう。
それが言いた
かったんだ。



ICTツールを巧みに活用すること

今回の分科会活動では、全てオンラインでの開催のこともあり、如何に効率よく、**メンバー間での共有と有意義な活動にすることを意識**して、**オンラインならではのツールを活用**しました。



【主な活用ツール】

- ① Zoom／レコーディング機能
参加できなかったメンバーに
- ② Miro(オンラインホワイトボード)
発言内容をメンバー全員が確認できる
- ③ バリューグラフ(フレームワーク)
メンバーの意見・思いが見える化
- ④ アンケート：Google フォーム
参加満足度、改善要望として活用

① Zoom／レコーディング機能

欠席者が動画を視聴する事で、共同化の補完が可能になり、次の表出化に繋がると考える。参加してなくても、メンバーの知識・アイデアを得る事ができる。



この部分で活用

共同化 (Socialization)

① 同じ体験を通して暗黙知を共有する

表出化 (Externalization)

② 共有された暗黙知を形式知化する

内面化 (Internalization)

④ 新しい形式知を獲得して新しい暗黙知が生み出される

連結化 (Combination)

③ 形式知同士を組み合わせる新しい知識体系を作る



② Miro(オンラインホワイトボード)とは。。

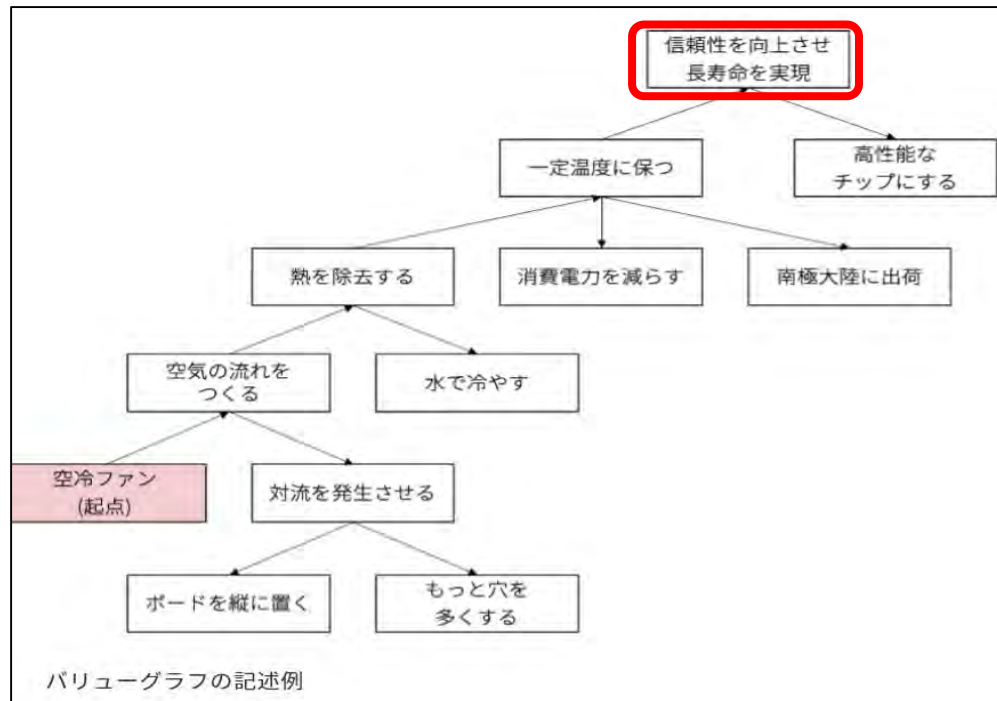
リモートや対面での会議において、**チームでの共同作業を活性化**するホワイトボードアプリです。

個人のITリテラシーに関係なく直感的な使用ができ、**コメント機能や付箋等のビジュアルツールにより膨大な情報をたった1つのボードに集約可能**です。

The screenshot displays the Miro online whiteboard interface. On the left, a vertical toolbar lists various tools: テンプレ (Template), テキスト (Text), ふせんを選べます (Select sticky notes), 図形 (Shape), 矢印 (Arrow), 手書き (Handwritten), コメント (Comment), グリッド領域 (Grid area), 共有設定 (Sharing settings), and a menu icon. The main workspace shows a mind map titled "例えば、マーケティングをする場合" (For example, when doing marketing). The central node is "ユーザーを増やす" (Increase users), with a yellow sticky note above it and a yellow arrow pointing to it with the text "クリックでテキスト書ける" (Can write text by clicking). Two branches extend from the center: "新規" (New) and "既存" (Existing). The "新規" branch has two sub-nodes: "広告" (Advertising) and "自然流入" (Natural inflow), with a red circle around "自然流入" containing the text "大事!" (Important!). The "既存" branch has two sub-nodes: "離脱防止" (Prevent churn) and "離脱者の呼び戻し" (Bring back churners). A yellow sticky note next to "既存" says "枝分かれは「+」で設定" (Branching is set with '+').

③バリューグラフ（フレームワーク）とは。。

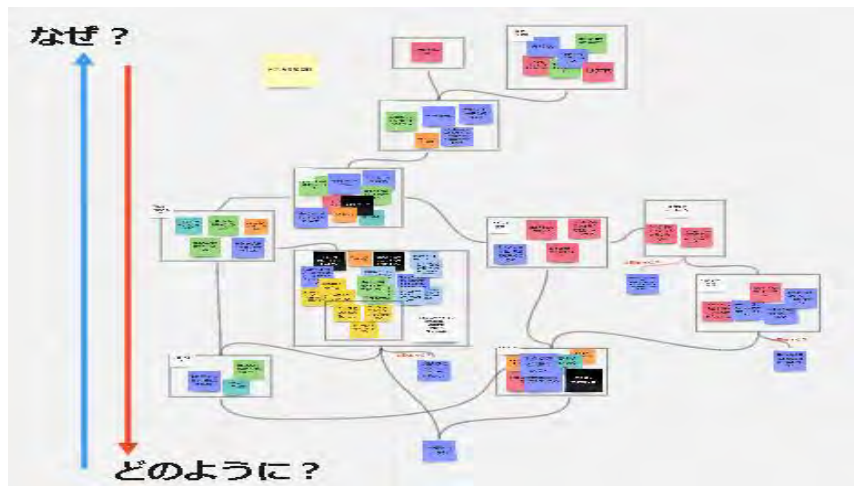
製品やサービスの目的や価値（バリュー）を構造的に可視化し、アイデアの幅を広げるために用いられる手法ですが、事業領域に対する理解を広げることにも適用できます。



引用：「システム×デザイン思考で世界を変える」
慶應SDM「イノベーションの作り方」
2014年発行 [編著]前野 隆司 発行：日経BP社

② Miro + ③ バリューグラフ

分科会メンバーの想い・目的を**見えるように書き出し整理**することで**活動の方向性・ベクトル合わせ**に役立った。



バリューグラフによる参加目的の明確化 (Miro上)

この部分で活用

共同化 (Socialization)

① 同じ体験を通して暗黙知を共有する

内面化 (Internalization)

④ 新しい形式知を獲得して新しい暗黙知が生み出される

表出化 (Externalization)

② 共有された暗黙知を形式知化する

連結化 (Combination)

③ 形式知同士を組み合わせる新しい知識体系を作る

4 アンケート：Google フォーム

暗黙知を形式化するための手段、形式知をデータとして保管する方法として、利用することができた。

【設問 19】分科会をより良くするためのアイデアがあれば教えてください。

回答

分科会の議論を意味あるものにするために毎回テーマ・目的を設定し、事前準備をきっちりする（宿題を設定する）。

Typetalkで連絡だけではなく、意見を交わす場にしてもよいかと思う。例えば、日頃の業務でヒントとなりそうな事例の共有、宿題で悩んだ場合の相談、雑談など ※その場合、最低週1回は、Typetalkへログインするや@allをつけてコメントする等のルールが必要かと思えます。

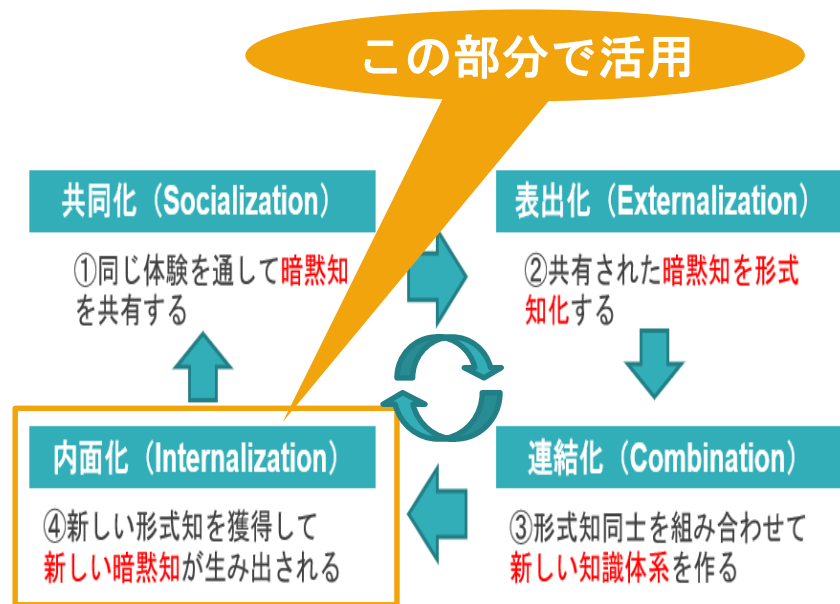
理論と実践の両輪が必要だと思うので、これまで分科会で出てきた理論を使って簡易な形式化を実践してみるハンズオンのな試みが行えれば、より具体的にこうしてみようという議論が進むのではないかと思います。

テーマに関係する情報をどんどん発信して行く。

分科会の周期・時間枠は、都度変更有りで良いと思います。例：隔週2時間、報告が近い場合もしくは進捗が思わしくない場合は、週1回1時間とか

疑問に思ったことは、その場に残さず、疑問として発言する等、なんでも意見が言える状況が作ればと思います。後は、Typetalkへの投稿を積極的に行う。

「意識・希望調査」のアンケートより抜粋
(分科会をより良くするアイデア)



SECIモデルを業務プロセスに組み込み実践すること

継続して新たな「暗黙知を探す場」が重要

共同化の場「創発場」

- ① 昼休みの雑談等で他者と知識の交換を行うプロセス

内面化の場「実践場」

- ④ 普段の仕事場で再び暗黙知へと変換される内面化プロセス

表出化の場「対話場」

- ② 担当者間のMTGで暗黙知を形式知に変換する表出化プロセス

連結化の場「システム場」

- ③ チームや組織でのオンラインMTGなどで形式知と形式知が組み合わせる結合化プロセス



表彰状

2022年度ソリューション研究会
西日本最優秀賞

見えないデータを活用する分科会

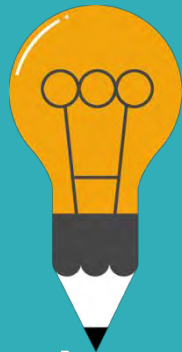
貴殿は、2021年度アシストソリューション研究会分科会発表会において、オンライン開催で制約のある中、力を合わせ素晴らしい成果を上げられました。

ここにその栄誉と努力を讃え表彰します。

2022年2月4日

ソリューション研究会
会長
玉本 宏之

「見えないデータを活用する」分科会 データ活用_澤田	「見えないデータを活用する」分科会 データ活用_服部
「見えないデータを活用する」分科会 データ活用_田中	「見えないデータを活用する」分科会 データ活用_猪
「見えないデータを活用する」分科会 データ活用_有光	「見えないデータを活用する」分科会 データ活用_松尾
事務局_重松	事務局_伊藤
データ活用_岸良	事務局_伊藤
事務局_平井	事務局_配信②
事務局_平井	事務局_配信①



新時代の
ナレッジマネジメントの
実践手法のまとめ

DX・イノベーション実現の道のり

ICTツールの活用



場の創出
共通善を創る



SECIモデル
の実践



組織文化の
醸成



DX・イノベーションの
実現



さあ、新時代の
ナレッジマネジメント
を実践するぞ！

皆さん（ナレッジリーダー）



- ビジョン (=想い)
- ICTツール
- 場を創る能力
- リーダーシップ
- etc
- 成果報告書!**

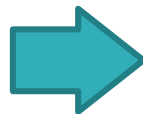
持ち物リスト

最後に

アソビュー株式会社：レジジャー施設等の予約チケット販売

・コロナ禍で売上昨年対比で95%減

・数ヶ月で232%増



コロナ対策のガイドライン
『電子チケット』を導入・入手データの活用

暗黙知 = ダイヤの原石

「見えないデータを活用する」分科会

ご清聴ありがとうございました

※ログインパスワードは「SECI_point」です。
※公開期限は、2023/02/03 までとなります。

